

施設外就労 昨年4月より開始した松屋フーズ嵐山工場様での施設外就労は、週3回各日3～5名の利用者様が参加し1年が経過しました。一般就労に近い形で訓練したことにより、就職に結びついた利用者様もおります。

さて、この5月から松屋フーズ川島生産物流センター様で施設外就労が新たに始まり、除草作業等を行っています。就労場所が増えることでのメリットは①作業の内容に幅が出来、応用力を身に付け一般就労に向けて色々な経験を積めること②職種の選択肢が増えることで利用者様自身の適材適所を見つけられるよい機会となること等が挙げられます。質の高い作業を身につけ、1日でも早く一般就労に繋げられるようスタッフ一同支援してまいります。



アンケート ハーモニーでは毎年、利用者様に対し、アンケートを実施しています。施設環境、人間関係、権利擁護、作業についての質問に対し、はい、どちらともいえない、いいえの三択でお答えいただくものです。利用者様から率直なご意見を頂くことで、運営についての改善点を模索し、利用者様から利用して良かったと感じて頂ける施設を目指していきます。今年は21名の方からご回答いただきましたのでその中の一部を紹介します。

建物などに関する好感度は76%の方がよいと、「職員に自分の意見を言いやすいですか」という質問に対して前回に比べて25ポイント上昇し75%の方から肯定的な意見を頂いています。「作業に関してやりがいがありますか」という質問に対して、あると回答した方は57%となっています。また、「工賃について仕事量に対して満足ですか」という質問に対して、満足と答えた方が29%に対し、不満と答えた方が24%という結果になりました。自由記述欄には、ここを第一歩として社会復帰を目指すといったご意見、病状や人間関係についての悩みなどが記されていました。最後に「ハーモニーを利用して良かったと思えますか」という質問に対しては、良いと答えた方は62%、悪いと答えた方は15%といった結果となりました。この結果を真摯に受け止め、今後の運営に反映させていきたいと思えます。

森の家

◇お問合せ電話番号◇
0493-56-4775(森林公園メンタルクリニック宛)

グループホーム森の家は自立した生活に向けて進んでいくために、とても大切な場所です。一人の利用者様から始まり、今では多くの方が森の家での生活を通じて社会復帰を目指しています。

入居時には、料理が出来なかった利用者様も、包丁の持ち方、野菜の切り方、味付・盛付等を私たち世話人と一緒に行うことで、徐々に手の込んだ料理も作れるようになります。また、慣れてきたところで少しずつ離れて見守るようすることで、準備から後片付けまで全て一人で出来るようになっていきます。

これからも自立に向けて適したサポートを心がけます。世話人 A



医療法人昭友会送迎バス 月・水・土運行 祝祭日運休 運賃:無料 定員:24名

発着所	1便	2便	3便
埼玉森林病院	9:15	13:00	15:00
いづみケアセンター	9:20	13:05	15:05
ベイシア・カインズ	9:30	-	-
森林公園メンタルクリニック	9:35	13:15	15:15
森林公園駅北口	9:40	13:30	15:30
ベイシア・カインズ	-	13:40	-
いづみケアセンター	9:55	13:50	15:45
埼玉森林病院	10:00	13:52	15:50

編集後記

新しく、精神保健福祉士として入職した吉田です。訪問看護・デイケア・外来等、様々な部署を経験中です。

皆様の生活の後押しが出来ればと思っております。どうぞ、よろしくお願ひします。

吉田 多美子



発行
医療法人 昭友会
森林公園メンタルクリニック

〒355-0811
埼玉県比企郡滑川町大字羽尾 495 番地
TEL 0493-56-4775/FAX 0493-56-4817
昭友会ホームページ
<http://www.kokoro.or.jp>

診療室より

外来担当医師の紹介(Part 1)

皆様、大変お世話になっております。金曜日に森林公園メンタルクリニックの外来を担当させて頂いています金澤直と申します。趣味は身体を動かすこと全般でマリンスポーツやサッカー、ランニングなどが大好きです。

東京都板橋区で生まれ、都心からは距離のある立川で育ちました。高校を卒業してからしばらくの間は自分探しの為に様々な仕事をし、外科医になることを夢見て東京医科大学に入学、サッカー部やメディカルアンサンブル、文化祭実行委員に学友会(生徒会)など様々なものに興味を持ちながら大学生活を送りました。

大学卒業後は東京都足立区の市中病院で2年間の初期臨床研修をおこない、眼科医か形成外科医になることを考えていましたが、どちらの道に進むか悩みに悩んだ挙句、臨床研修2年目の10月も下旬に差し掛かる頃、夢で精神科に進む啓示を受け布団から飛び起きたというのが嘘のようで本当の精神科医を志すこととなった理由です。精神科の臨床研修を昭和大学精神科関連の市中病院でおこなったことがきっかけとなり昭和大学精神科教室に入局しました。精神科医として3年目になり、院長である稲葉先生、金曜日の外来と一緒に担当させて頂いている山田先生の医局の後輩にあたります。

勤務体系としては森林公園メンタルクリニックでの勤務の他に週4日神奈川県の中野市中病院で勤務、他には昭和大学東病院、神奈川県の病院・老人保健施設、千葉県の市中病院でも働いています。

学生時代より感じていたことではありましたが、研修医時代を通し精神科医として働くようになってから実感しているのが精神科医療はチームワークで支えられているということです。様々な職種の人達が協力して医療をおこなっていく中で常に謙虚な気持ちを忘れずに患者様のことを1番に考え、また周りのスタッフの方々とも気持ちよく、そして楽しく仕事ができる環境を作っていくことに少しながらも尽力出来ればと考えています。

未熟者で専門分野などはありませんが、精神科の医師として働くにあたり患者様を診察させて頂く際には患者様の立場になって考えるという医師としての基本姿勢をいつまでも忘れずに微力ながら森林公園メンタルクリニックに貢献できればと考えています。

いつも聞きたくても聞けないこと、どんな些細なことでも話を聞かせて頂ければ私なりに誠心誠意返答させて頂きますので、どんなことでも遠慮せずに聞いてください。今後とも宜しく申し上げます。



金澤 直(なお) 医師

外来スタッフから一言

金澤医師が当院に来て、早三ヶ月が経ちました。その中で日々、診療に携わる私にとって心温かくなる事があります。診察中、患者様に対して「一緒に頑張ろう!!」とおっしゃる事がよくあります。患者様にとってはどんなに心強いでしょうか。また、患者様を診る時の視線の柔らかさに誠意と優しさを感じます。治療効果として薬物療法も大切ですが、医師からの直接的な言葉は患者様にとって絶大です。

また、クリニック職員に対して公平に接する人柄と、若さに加え、エネルギーでユーモアのセンスも抜群なため、患者様からの人気も高まることと確信しております。

家族会

平成24年6月16日(土)午後1時より、森林公園メンタルクリニック、ハーモニー、グループホーム森の家合同第6回家族会が開催され、小雨の降る中、27名のご家族の参加を頂きました。

第一部は『統合失調症についてみんなで語ろう』と題し、①DVD鑑賞『医療スペシャル 知っていますか？統合失調症 正しい理解と回復への道』、②当院勤務医の山田医師(昭和大学医学部精神医学教室講師)による講演『統合失調症におけるメカニズム、症状、服薬の効果と最新医学について』、そして第二部は『家族会を考える』と題し、全体での座談会を行い、家族会終了後、ご家族からの個別相談を受ける場を設け、専門職員がそれぞれ対応しました。

今回はDVD鑑賞や医師の講演等、初の試みという事もあり、参加された皆様の反応が気になっていましたが、アンケート結果等拝見させていただくと、「具体的な内容で参考になった」、「自立に向けての様々な試みがあり可能性を感じた」、「薬が症状に対してどのように効いていくのかわかりやすかった」との感想を多数いただき、スタッフ一同胸を撫で下ろしたところです。講演中、山田医師から「気になる事があったら気軽に医師に話してほしい。ご家族からの情報も治療に役立つ」との話に対し、治療にはご家族の協力が不可欠である事を改めて気付かされました。

第二部座談会では「自分の子供の事しかわからなかったが、色々な人の話を聞いて共感できる部分があった」「親亡きあとの事が心配」「親が子供の病気を受容するには時間がかかる」等、ご家族から様々な意見が出されました。中には今後、家族会の運営に参画したいと発言されたご家族もおりました。回を重ねるごとに家族会が盛り上がりを見せているように感じます。私たちスタッフが描く理想としている家族会は、ご家族が主体となって運営し、スタッフがサポートしていくことです。更なる有意義な家族会の実現に向けてスタッフ一同、ご家族とともに取り組んで参ります。

次回の家族会は12月を予定しています。

～第6回家族会の様子～



DVD鑑賞



山田医師による講演



座談会

クリニックアンケート

今年も、5月に利用者満足度調査を実施し、外来・デイケア・訪問看護ご利用の多数(608名)の皆様から、貴重なご意見をいただく事が出来ました。ご協力いただき、本当にありがとうございました。

今回のアンケート結果から注目すべき点は昨年、一昨年に比べ、当院の全体的なイメージや利用者様に対する接遇面において今まで以上に良いという評価をいただいた事です。特に最大の課題である待ち時間については前回調査時よりも2割ほど多い、8割近くの利用者様から、容認できる範囲であるという評価をいただきました。これも、以前、皆様から頂いたアンケート結果をもとに、試行錯誤を重ね改善を図ってきた結果の表れであると受け止めております。しかしながら、待ち時間については約2割の方から「長い」というご指摘を受けておりますので更なる待ち時間の短縮に向けて取り組む所存です。その他、改善に向けての課題はまだ山積しております。現状の設備・運営面を考慮すると、利用者様からのご要望にすべてお応えする事は現実的には難しいケースもありますが、今回以上の評価をいただけるよう誠意を持って職員1人1人取り組んで参りますので今後とも何卒、ご理解ご協力いただきますようお願い申し上げます。

～節電へのご理解とご協力のお願い～

関東も梅雨に入り、これから暑い時期を迎えます。政府は、今年の夏が猛暑の場合、「自然体の節電だけでは電力が不足する可能性がある」とし、電力の使用制限令や計画停電の実施など、強制的な需要抑制策をとる可能性がある事を発表しています。厳しい夏を迎えますが、当院では昨年に引き続きエアコンの利用を控えめにし、扇風機を活用し節電に取り組む所存です。皆様には大変ご迷惑をおかけしますが、何卒ご理解とご協力の程、お願い申し上げます。

デイケア

◇活動日・活動時間◇月曜日～土曜日(祝日、年末年始を除く)9:30～15:30
◇お問合せ電話番号◇0493-57-2228(デイケア直通)

●2012年度夏祭りのお知らせ○

今年も恒例の夏祭りが開催されます。今回は利用者の方が実行委員となり、企画から準備、当日の進行まで担当されます。どのような夏祭りとなるか、利用者様、スタッフともにワクワクしています。昨年からお協力いただいていますワタミ手づくりマーチャンダイジング東松山工場様からボランティアとしてご参加いただく予定です。皆様とともに残暑を忘れる1日を過ごせますように。



日程:平成24年8月23日(木) 場所:森林公園メンタルクリニック デイケア

●プレジョブガイダンスのお知らせ○

過去2回のジョブガイダンスに11名の方が参加されました。その結果、アルバイトを始めた方が3名、作業所通所を始めた方が2名ということで一定の成果を上げる事が出来たと実感しています。

デイケアから一歩踏み出すということはメンバーにとって不安が強く、多くの方が仕事はしたいと思うが今すぐには難しいと感じているようです。そこで7月から開催するジョブガイダンス(7日間)は就職活動よりも就職への準備に重点を置き、疾病の理解、日常生活習慣の改善、身だしなみ、集団生活の基本的マナーとコミュニケーションを身につけ、自分に合った職業選択に役立てるような内容にしていきます。就労を目指したい方はお気軽にスタッフへご相談ください。

「プレジョブガイダンス」実施計画(予定)

第1回	「何故働くのか」・就労者の話
第2回	就労能力適性検査実施
第3回	疾病の自己管理・日常生活の管理
第4回	基礎的労働習慣・対人技能のSST
第5回	自分や仕事について知る・障害者枠での就労について
第6回	ハローワーク見学・作業所見学
第7回	今後の課題について考える

●夏の過ごし方「グリーンカーテン」○

今年も暑い夏がやってきますね～。みなさんは暑い夏をどう過ごしますか？デイケアでは去年に引き続き、ベランダでグリーンカーテンを行います！去年はゴーヤだけのグリーンカーテンでしたが、今年はキュウリとシカク豆にも挑戦です。シカク豆って、みなさんご存知ですか？切ると断面が人(?)星(?)型の四角になっているんです。最近では埼玉のスーパーでも見かけるようになった新顔の野菜です。沖縄を中心に栽培されていて、沖縄では“うりずん”と呼ばれています。食べるほんの少し苦味がありますが、サラダとかマヨネーズによく合うので、いまから収穫が楽しみです！



「ゴーヤ」



「キュウリ」



「シカク豆」



訪問看護



◇お問合せ電話番号◇090-5515-6010

担当者 中島/大村/須田/大野/吉田

訪問日 日曜 祝日 年末年始を除く毎日 8:30～16:30

訪問看護を多くの方にご利用頂き、感謝申し上げます。現在73名の方が訪問看護を利用されています。訪問看護を始めた当初は職員2名の1チームで対応していましたが、訪問看護に対するご要望が高まり、現在は担当職員を増員し2チームで対応しています。今日までの活動成果としては、

- 再入院・病状再発の予防
 - 病状悪化の早期発見
 - 地域生活への適応促進(地域の福祉サービスへ繋ぐ)
 - 服薬中断の予防(服薬教育)
 - 主治医との関係を築く
 - 病気との付き合い方
 - スムーズな入院へのサポート
 - 誰にも言えずに苦しんでいることなどを傾聴し、それについて共に解決方法を見つける 等々です。
- 訪問看護で深めた信頼は、訪問看護を継続する事でこれからも共感、理解しあえるものと願っております。